

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1095	(H.24)No.	1095
-----------	------	-----------	------

事務事業名		草木類リサイクル事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		産業政策室		大西 昌男	63-7623
新・継	事業期間			根拠法令等	
継続	平成 21 年度 ~	平成 24 年度	バイオマス活用推進基本法		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小施策	2	リサイクル
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	306501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	草木類リサイクル事業	
項	農業費	(小事業名)	
目	農業総務費	草木類リサイクル事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>シルバー人材センターが行う事業や、各地域における住民組織から発生する草木ごみの処理を行う必要性が年々高まる中、シルバー人材センターにこれらの破碎作業を委託することにより、草木類のチップ化・堆肥化など循環型社会の仕組みづくりにつなげる。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>草木類を破碎することで、それ自体の減量化につながるるとともに、堆肥化などを行うことにより資源のリサイクルを図ることができる。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	・取扱量 草 530t 剪定枝 459t 合計 989t  ・草木類リサイクル委託: 委託料9,976千円	・草木類リサイクル委託: 委託料3,052千円	補助金・交付金	その他 ( )		
	<b>直接事業費</b>	<b>9,976千円</b>	<b>3,052千円</b>	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金	9,976				
	地方債					
	その他(諸収入)		100			
一般財源	(0)	0	2,952	0	0	0
人工数	職員 0.07人	0.18人				
	臨時職員等					
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 511千円</b>	<b>1,314千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 10,487千円</b>	<b>4,366千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	草木類リサイクル取扱量	-	-	-	-	-
	実績		-	944	990	979	-
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成23年度も引き続き、草木類のリサイクル処理を安定的に行うことができた。	ふるさと雇用再生特別基金事業の終了に伴い、今後の処理方針を検討する必要がある。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
草木ごみの処分施設がないため、事業完了に向けて草木類堆肥化施設を整備予定。	剪定枝や法面等の草刈ゴミの処分先が市内にないため、受け入れ先の確保が求められている。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢) の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	バイオマス利活用に伴う草木類の堆肥化により、リサイクル利用が図れる。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	美旗地区地域ビジョンにおける市有地有効活用に、草木類堆肥化施設の整備が挙げられている。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

事業完了(完了予定含む)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

#### 特記事項

現状では本事業によるほか、高額な民間の処分施設しか処分先がないため、草木類堆肥化施設の整備ができるまでは本事業の継続が必要である。